

一般質問

合宿補助金について



公明党 おおくほ すすむ
大久保 進

問 スポーツ合宿に対する補助金制度導入の考えは。

答 合宿補助制度は全国で導入を始めた自治体が増えてきているが秩父市で制度の導入を考えた場合、いくつかの条件をクリアしなければならぬ。施設の問題、宿泊施設の問題等が考えられる。制度の導入については諸問題を解消していくのが必要であり、引き続き研究していく。

被災者支援システムの導入は

問 災害に備え被災者支援システムの導入の考えは。

答 近年、日本各地では集中豪雨や台風による土砂災害をはじめ、様々な自然災害が発生している。秩父市では26年2月に発生した大雪災害では1412件のり災証明を発行した。また、4月に熊本地震に職員2名を派遣した。このようなかで、被災者支援システムの早期導入を強く感じている。また、この被災者支援システムは、り災証明発行のほか、被災者支援台帳・避難所情報・緊急物資管理・仮設住宅管理、また、各種支援制度や

義援金の処理等、総合的な管理が可能になり、このようなことから被災者の方々の支援に必要となる被災者支援システムの導入を前向きに検討していく。

ゆるキャラグランプリ

問 ポテくまの順位が伸び悩んでいるがよい方策は。

答 担当課での投票促進活動には限界があるので、将来的にはPR活動に参加いただける組織「ポテくまくんファンクラブ」を立ち上げることを検討していきたい。



ポテくまの街頭演説

商店街の街路灯について



清流クラブ きむら たかひこ
木村 隆彦

問 商店街の街路灯の現状は。

答 商店街の街路灯については、24年度から26年度までに、国の商店街まちづくり事業等の補助金を活用して、番場町、みやのかわ、上野町、熊木町、本町の6商店街の383基の街路灯をLED化する事ができた。これにより、街路灯の老朽化が改善され、商店街運営を圧迫していた電氣代が、約2分の1程度になるなどの効果があり、現在では明るい商店街が形成されている。

問 街路灯の役割は。

答 街路灯は街を明るくし、商業の振興、活性化の面からも非常に有効である。また、防犯上の面からも大変重要な役割を果たし、全体的には刑法犯罪発生率も減少傾向にある。セーフコミュニティを推進している当市としては、LED化の成果があったものと感じる。

問 街路灯の電氣代補助について。

答 防犯的效果も出ていることや街中の賑わいが観光客に繋がることと、商店街の負担が大きいことを鑑み、財政局や関係部所と前向きに協議・検討する。

問 他地域の多くの自治体では街

路灯の修理や電球の交換、電氣代等を支援している。秩父市でも商店街の街路灯の電氣代の支援ができないか市長に伺う。

答 町会の負担を支援していないが、商店街の方へ出していない。その差をどのように考えるか、商店の場合には営利的なものもあるのか、一応区分けはしなければならぬ。しかし、「秩父の夜は寂しい」とよく言われるので照らしていただいているのはありがたい。29年度の予算にどのように組めるのかしっかりと検討する。



みやのかわ街路灯

一般質問

合併検証なくして まちづくりなし

問 合併自治体の多くで、合併検証が行われている。「国にだまされた合併」との声がある中、特に周辺部の衰退が心配される。合併10年の節目に市民アンケートなどを実施し、合併の検証をしっかりと行なわなければ、今後のまちづくりは望めないと考えるが。

答 検証は必要だと思いが、合併後の10年を定めた第2次総合振興計画の説明会等で意見は集約できている。それらを総合して今後の10年をどうしていくかということに進みたい。

●「秩父市の教育」その課題と対策

問 全国学力テスト結果の学校別公表は、メリットよりも逆に過度の競争や学校の序列化というデメリットの方が大きいのでは。

答 公表したことによって、指摘されるような問題は無かった。

問 子どもの貧困が学力に及ぼす影響が指摘されている。学習支援の充実こそ重要と考えるが。

答 学力の問題には貧困も含めて様々な要素がある。データの分析をし、その結果を踏まえて総合的

に取り組む。

問 教室へのエアコン設置には、5年もの差が出る。学習環境の公平ということをどう考えるか。

答 財源の問題があり、過密クラスから計画的に設置している。

●ユニバーサルデザインのまちへ

問 一昨年の請願で出された改善要望それぞれの進み具合は。

答 障がい者トイレの充実を御花畑駅などで図る。バリアフリーマップは来年3月公開予定。



かなざき まさゆき
金崎 昌之



特別支援学校PTA・秩父手をつなぐ育成会から提出された、医療的ケアを必要とする障がい者施設拡充の要望書

し尿処理事業の広域化について

問 秩父市と横瀬町のし尿処理をしている清流園は、処理能力が日量80キロリットルだが、現在は下水道事業の整備によって一日あたりの処理量は約40キロリットル。し尿処理事業は国・県の方針として広域処理による経費削減、施設更新時の事業費圧縮を推奨している。秩父地域にはし尿処理施設が3施設あり、清流園は操業から37年が経過している。広域化を含め何らかの方向性を示す時期に来ていると思うが。

答 清流園は、昭和54年の施設稼働から37年が経過し、老朽化が進行している。このため将来の施設更新計画の策定について、方針を定めるための資料収集、基本構想の準備、秩父郡内での広域処理について検討する必要性が生じている。広域処理については、21年度から秩父圏域のし尿処理施設管理担当者による協議会を作り、総合計画案の策定に向け協議を始めた。その後、このし尿処理統合を定住自立圏事業に組み入れることも模索したが、施設の経過年数、老朽化の度合いの違い等により将来計画の温度差が表面化し、意見集約が



荒川上田野にあるし尿処理施設「清流園」

停滞してしまった。現在、協議会は継続しているが、経費の節減方策や情報交換等を行うにとどまっている。今後、し尿処理施設の更新及び長寿命化のための大規模改修等の事業を行うには、さまざまな角度からの検討が必要と考えられる。広域化の検討を引き続き行っていくとともに、市独自にも国の交付金対象事業認可や現状を把握するため専門業者による調査を行うなど、最良の方策を早急に検討していきたい。



あらはら くにあき
清流クラブ 荒船 功

一般質問

市と神社仏閣との関わりについて



清流クラブ
赤岩 秀文
あかいわ ひでみ

問 政教分離に対する市の立ち位置について、当市には、多くの神社仏閣があるが、近年氏子や檀家の高齢化や減少が顕著になり、将来的に運営が厳しくなるのではないかと心配する声が聞こえる、市として神社仏閣に対して周辺整備など何らかの協力をしているか。

答 観光振興の観点から、札所の誘導用案内板の設置、札所境内には札所の解説板の設置や修繕、観光トイレの新設改修を行っている。

問 市として神社仏閣に協力する場合、政教分離に配慮した明確な線引きはあるか。

答 憲法第89条では、国または地方公共団体が宗教上の組織もしくは団体に財政援助を与える事を禁止しているが、神社仏閣の施設が観光資源や文化財である場合は、個々の事例を法に照らし適正に判断し協力していく。

●観光資源としての神社仏閣の関わり方について

問 一昨年、多くの参拝客で賑わった札所の午年総開帳が終わったが、次の午年総開帳に向けての周辺整備についての計画は。



川瀬祭

●伝統文化継承としての祭のあり方について

問 川瀬祭に参加する子どもが減少している現状を市はどのように把握しているか。

答 川瀬祭に参加している子どもは全体で約400人そのうち半数の約200人が祭町会外の参加である。

秩父夜祭宵宮の賑わいづくりについて



清流クラブ
清野 和彦
きよの かずひこ

問 12月2日夜祭宵宮の秩父神社周辺での賑わいづくりの考えは。

答 今年の夜祭ではかつて大きな絹の市が立ち賑わいを魅せていた歴史から番場町内の「黒門通り」「買継商通り」を会場とした「秩父夜祭絹市」を計画している。絹関連商品等の展示・販売、秩父の食材を活用した飲食の販売、秩父銘仙のトークショーや織物業界の歴史を織り交ぜながら秩父神社や諏訪神社など観光資源を活用した宵宮案内ガイドを実施。3日の例大祭でも開催する計画である。

●西武秩父駅・御花畑駅周辺の環境整備について

問 27年9月議会で御花畑駅横の駐輪場について、まちあるき観光の観点から改善すべきと指摘したが検討や改善はあったか。

答 札所十三番東側、幹線51号線交差点の道路拡幅用地を臨時的に駐輪場とした。

●武甲山について

問 市内各所から見える採掘場の構造物は何か。またこの構造物は一時的なものか、永続的なものか。



秩父のわたしたちの原風景・武甲山

答 横瀬町地内の菱光石灰工業(株)宇根鉱山の碎石場にあり採掘終了後の斜面の災害を防止するために石灰石を積み上げる盛土工事を実施していると報告を受けている。現在は標高930mの地点から985m地点に横幅約250m奥行30mの盛り土となっており、半永久的に残るものと伺っている。

◎希少植物「ミヤマスカシユリ」自生地発見についての市の認識
◎移住・定住促進、戦略的なシティプロモーションの実施

一般質問

森林の利活用、 林業振興について

問 東京五輪開催における新国立競技場建設に向け、秩父産木材を使用してもらうための条件は。

答 前提条件として、森林認証取得が必須であり、認証取得に向け、鋭意取り組んでいる最中である。

問 県下でも有名な美林。栃本市有林等を活かした林業振興策は。

答 秩父地域の林業振興における突破口とすべく、「栃本市有林2百年生の森づくり事業」に取り組んでいく。

問 災害時木造仮設住宅用木材の供給協定締結についての考えは。

答 全国でも初の試みであり、協定締結に向け、県や全国木造建設事業協会等と情報交換していく。

● 共助による地域防災力強化

問 各町会単位で設置されている自主防災組織の役割と機能とは。

答 自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の理念に基づき、災害被害の軽減、拡大の防止等、さまざまな防災活動を行っていただく。

問 自主防災組織へ市の支援策は。

答 リーダー養成講座や災害ボランティア講座の開催。地区防災計画

清流クラブ

黒澤

秀之



くろさわ

ひでゆき

画の策定等、自主防災組織のあらゆる活動に対し支援をしていく。

● 登録民家増加策(民泊事業)

問 受入れ民家登録数が思うように増加しない現状において、体験プログラム等の充実と受入れ民家負担軽減策をどのように考えるか。

答 現在約220件の登録民家があるが、学校を受入れるたびに不足し苦戦している。今後は広報の方法、体験プログラム支援策を充実させ、積極的に推進していく。

阪神淡路大震災における救助の主体と救助者数



大規模自然災害時は「自助・共助」が重要

◎ 防災井戸、一時集合場所設置

● 市議会を傍聴してみませんか ●

12月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
11月29日(火)	開会、議案説明
12月5日(月)	議案に対する質疑
6日(火)、7日(水)、 8日(木)	一般質問
9日(金)	委員会
14日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。

※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。

ありがとう
ございました

9月定例会の盆栽

9月定例会に盆栽を提供していただいた方は、新井進さん(下吉田井上町会)です。



新井進さん提供

編集後記

朝晩も大変涼しくなり、すっかり秋の気配が深まってきました。9月定例会が終わると秩父地方も各地で多種多様なお祭りの時期になります。龍勢祭り、新そばまつり、紅葉祭、そして秩父夜祭となります。また、地域での運動会が開催され、各地で公民館の文化祭が開催されます。一日の寒暖の差が大きい時期となりました。体調管理を十分にして、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋を存分に楽しんで過ごしたいですね。

話は変わりますが、10月1日から新火葬場が一部操業を始めました。建物は秩父の里山景観に調和したデザインで秩父産木材をふんだんに使用したとても素晴らしい建物です。季節の変わり目ご自愛ください。

平成28年10月 大久保 進 記

編集委員

委員長
副委員長
委員

木村 隆彦
大久保 進彦
江田 治雄
清野 和彦
赤岩 秀文
高出 章宏
野浦 恵